

**次期総合計画第 1 期アクションプラン「政策推進プラン（仮称）」
（素案⇒中間案）の主な変更内容**

1 主な変更内容

(1) 「はじめに」を追加

策定の趣旨、計画期間等を追加

(2) 各政策分野共通事項

ア 政策分野ごとの指標の名称を「いわて幸福関連指標」とし、現状値、目標値を追加したほか、参考指標を設定

イ 4年間の工程表と具体的推進方策指標を追加

2 総合計画審議会、議会等における意見を踏まえた本文修正

（主な見直し内容）

政策分野	素案	中間案（今回）
Ⅲ 教育	18 地域に貢献する人材を育てます	<p>同左 (P91)</p> <p>いわての復興教育の具体的推進方策に「自他の命を守る力を子どもたちに育むため、地域の状況に応じ、学校・家庭・地域・関係機関が連携し、県内全ての学校が子どもたちの発達段階に応じた防災教育に取り組みます。」を追加。</p> <p>キャリア教育の具体的推進方策に「児童生徒、保護者、教員の地域企業等への理解や関心を高めるため、企業見学会や企業説明会の開催を県内産業界と連携して進めます。」を追加。</p>
Ⅳ 居住環境・コミュニティ	22 地域の暮らしを支える公共交通を守ります	<p>22 同左 (P114)</p> <p>地域公共交通の具体的推進方策に「モビリティ・マネジメントの活用により県民意識の変化を促しながら地元利用の促進を図ります。」、「三陸防災復興プロジェクト2019などの大規模イベントの開催を契機とし、一貫運行のメリットや地域の観光資源を生かした企画列車の運行など、県内外からの誘客に向けた魅力ある商品造成に対する支援を行います。」を追加。</p>
	23 つながりや活力を感じられる地域コミュニティを守り育てます	<p>23 同左 (P117)</p> <p>地域コミュニティづくりの具体的推進方策に「三陸防災復興プロジェクト 2019 を契機として、復興の取組を通じて生まれた様々なつながりを生かした地域住民の交流機会の拡大や生きがいづくりを促進することによって、コミュニティの活性化を図ります。」を追加。</p>

政策分野	素案	中間案（今回）
	<p>26 文化芸術・スポーツを生かした地域をつくります</p>	<p>26 同左 (P126) 文化芸術を生かした交流の具体的推進方策に「震災の復興支援や三陸防災復興プロジェクト2019を通じて深まった著名な芸術家との交流や国際音楽祭などの文化イベントを展開」を追記。 (P127) スポーツを生かした交流の具体的推進方策に「ラグビーワールドカップ2019™の拠点である釜石鶴住居復興スタジアムにおいて、これまでの国内外とのつながりや三陸防災復興プロジェクト2019などのレガシーを継承」を追記。</p>
V安全	<p>27 自助、共助、公助による防災体制をつくります</p>	<p>27 同左 (P131) 自助の具体的推進方策に「三陸防災復興プロジェクト2019をはじめとする災害の教訓を伝える取組」を追記。 (P132) 公助の具体的推進方策に「集客施設等における噴火時等の避難確保計画の策定を促進し、火山防災対策を推進します。」、「総合防災訓練や国民保護共同訓練の実施、県地域防災計画の見直し、市町村が行う地域防災計画の見直しへの支援により、県や市町村の防災体制の向上を図ります。」を追加。</p>
VI仕事・収入	<p>31 多様な働き方を通じて、一人ひとりの能力を発揮できる環境をつくります</p> <p>⑥いきいきと働き続けるための健康づくりの推進</p> <p>33 国際競争力が高く、地域の産業・雇用に好循環をもたらすものづくり産業を盛んにします</p> <p>⑥ものづくり産業人材の育成・確保・定着</p>	<p>31 ライフスタイルに応じた新しい働き方を通じて、一人ひとりの能力を発揮できる環境をつくります (P149) 長期ビジョンに合わせて政策項目を修正。 長期ビジョンの記載内容に合わせて、当該取組を雇用・労働環境の具体的推進方策に記載。</p> <p>33 同左 (P160) 長期ビジョンの記載内容に合わせて削除。（当該取組については「Ⅲ教育」に記載）</p>

政策分野	素案	中間案（今回）
	<p>37 収益力の高い「食材・木材供給基地」をつくります</p> <p>38 農林水産物の付加価値を高め、販路を広げます</p> <p>39 一人ひとりに合った暮らし方ができる農山漁村をつくります</p>	<p>同左 (P186) 革新的な技術の開発の具体的推進方策に「カラマツ種子の着果促進技術の検証やスギ花粉症対策品種の開発・種子増産等により、優良な種苗の安定確保に取り組みます。」「アカマツCLT等の実用化や、広葉樹資源を活用した木材製品の商品化に向けた技術開発等に取り組みます。」を追加。 (P187) 生産基盤の着実な整備の具体的推進方策に「荒廃農地の発生防止・再生利用を図るため、農業委員会等による農地の利用最適化の取組を推進します。」を追加。</p> <p>同左 (P194) 県産農林水産物のブランド化の具体的推進方策に「県産農林水産物や産地の評価向上を図るため、品質の管理や安定供給等に取り組む」ことを追記。</p> <p>同左 (P200) 農山漁村を支える人材の育成の具体的推進方策に「生産条件が不利な中山間地域の農業生産活動の継続に向け、兼業農家などの地域を支える多様な生産者が参画する集落営農組織が、農地を有効利用しながら、地域の農業・農村を維持していく取組を推進します。」を追加。 (P201) 魅力あふれる農山漁村づくりの具体的推進方策に「地域の立地条件等を生かして生産された、特長ある農林水産物を活用した特産品等の開発、販路の開拓・拡大など農山漁村ビジネスの取組を推進します。」「農山漁村に受け継がれてきた伝統行事や食文化などの継承・振興や、農山漁村への移住・定住等を見据えた都市と地域住民の交流・連携活動を促進します。」「県民の健康・余暇活動など様々な分野で、森林の持つ多面的機能の活用を促進します。」を追加。</p>

政策分野	素案	中間案（今回）
VII 自然環境	<p>42 多様で優れた環境を守り、次世代に引き継ぎます</p> <p>44 地球温暖化防止に向け、低炭素社会の形成を進めます</p>	<p>同左 (P221) 環境学習の推進の具体的推進方策に「ESD（持続可能な開発のための教育）の考え方」に関する記載を追記。</p> <p>同左 (P229) 地球温暖化に伴う気候変動の具体的推進方策に「県の適応策の総合化・体系化による中長期的な適応計画（地域気候変動適応計画）の策定を進めます。」を追加。</p>
X 参画	<p>49 性別や年齢、障がいの有無に関わらず活躍できる社会をつくれます</p>	<p>49 同左 (P256) 多様な生き方の具体的推進方策に「LGBTなど性的指向や性自認を理由とした困難な状況に対して、相談窓口の設置や出前講座等の実施により理解を深めます。」「ひとり親家庭等に対して、相談や就労支援等による支援に取り組みます。」を分割して記載。</p>